



2026年3月期 決算説明資料

2026年5月14日

証券コード：4022

目 次

1. 事業概要

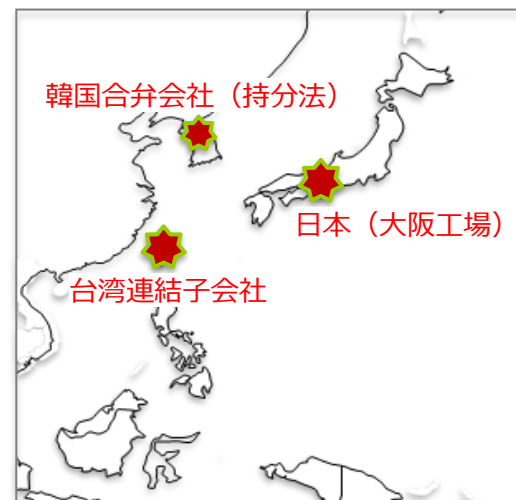
2. 2026年3月期実績及び2027年3月期見通し

1. 事業概要

事業概要

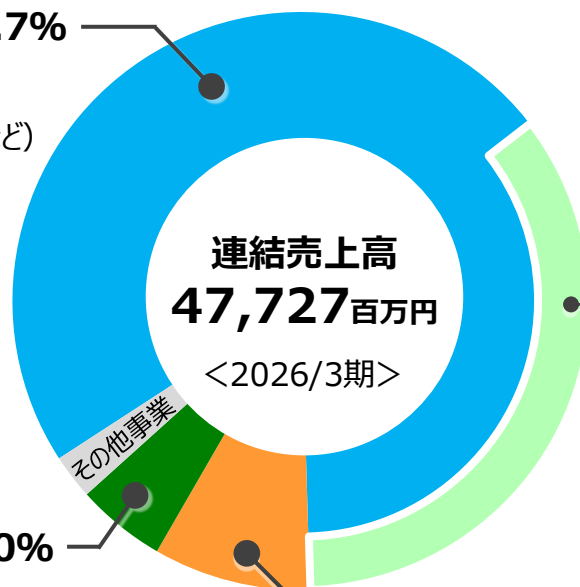
会社概要

商号	ラサ工業株式会社
本社	東京都千代田区外神田一丁目18番13号
創業	1913（大正2）年5月1日
設立	1918（大正7）年6月26日
従業員数	631名（連結） <2026年3月31日現在>



化成品事業 39,956百万円／83.7%

- リン系製品
リン酸（一般品、電子工業向け高純度品など）
リン酸塩など
- 凝集剤（水処理用など）
- その他（コンデンサー向け原料、消臭剤など）



▶ 半導体向け高純度リン酸の製造体制

うち、高純度リン酸
売上高 16,796百万円／35.2%
〔日本（大阪工場）と台湾連結子会社の合計〕

- ・ 半導体向け高純度リン酸（エッチング液）では、グローバルトップシェア

電子材料事業 2,395百万円／5.0%

- 化合物半導体向け高純度無機素材
（ガリウム、インジウム、赤リン、酸化ホウ素など）
- 放射性ヨウ素吸着剤

機械事業 4,197百万円／8.8%

- 建設機械（破碎機、選別機、粉体機器）
- 土木機械（掘進機（上下水道向け））

2. 2026年3月期実績及び2027年3月期見通し

2026年3月期 決算概要

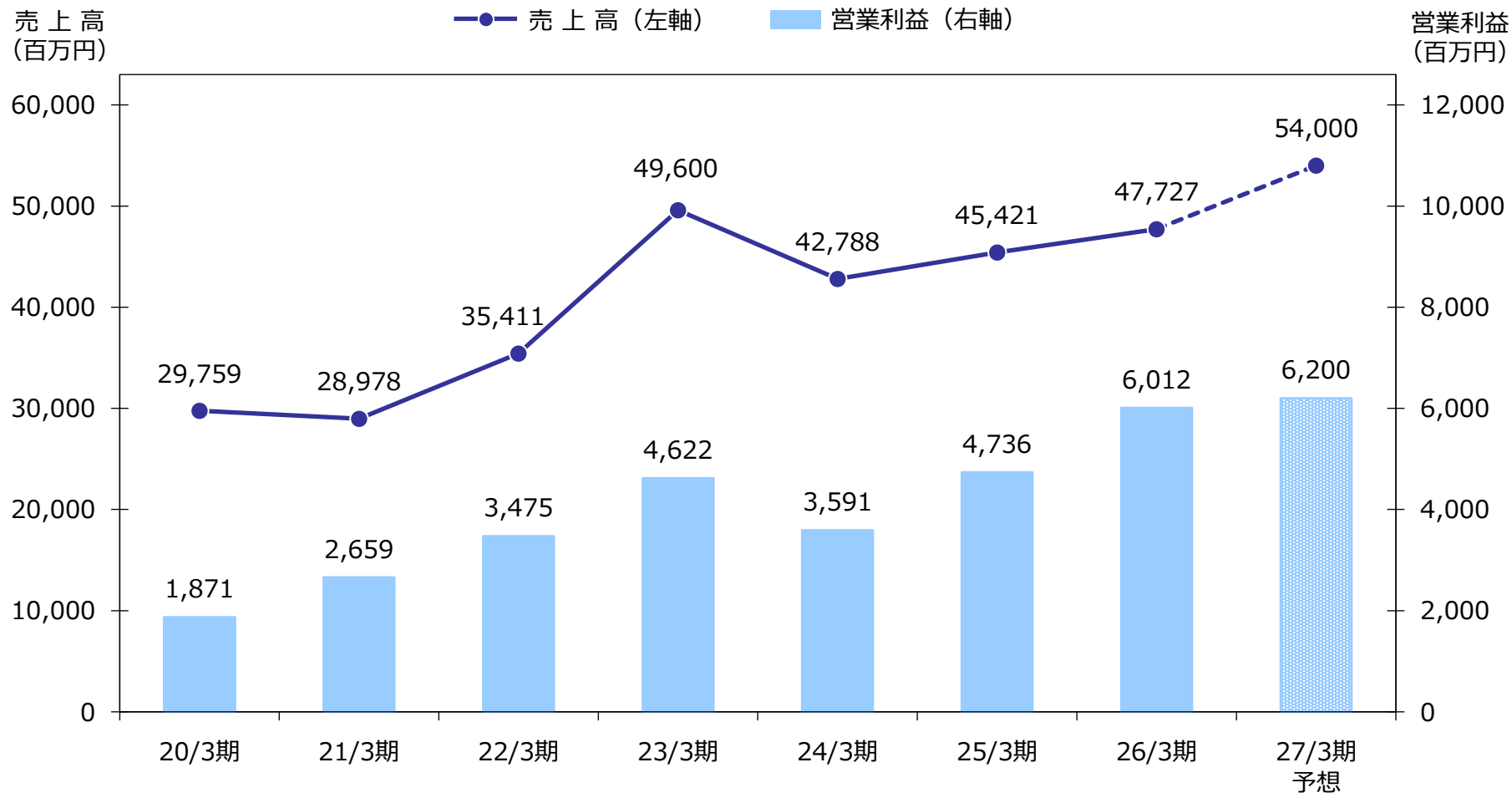
- 売上高は、化成品事業、電子材料事業で増収、機械事業、その他の事業で減収となり、全体では5.1%増収。
- 営業利益は、半導体関連向け製品が海外および化合物半導体向けを軸に引き続き好調に推移したこと等により、26.9%の増益。過去最高益を2期連続で更新。

(単位：百万円)

	2025/3期	2026/3期	増減	前年同期比	業績予想	増減
売上高	45,421	47,727	2,305	5.1%	47,700	27
営業利益	4,736	6,012	1,276	26.9%	5,800	212
経常利益	4,602	6,191	1,589	34.5%	6,000	191
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,131	4,359	1,228	39.2%	4,200	159
1株配当金	120円	180円	60円	50.0%	170円	10円
R O E	11.9%	14.6%	2.7%	—	—	—
(減価償却費)	1,794	1,781	△ 13	△ 0.8%		

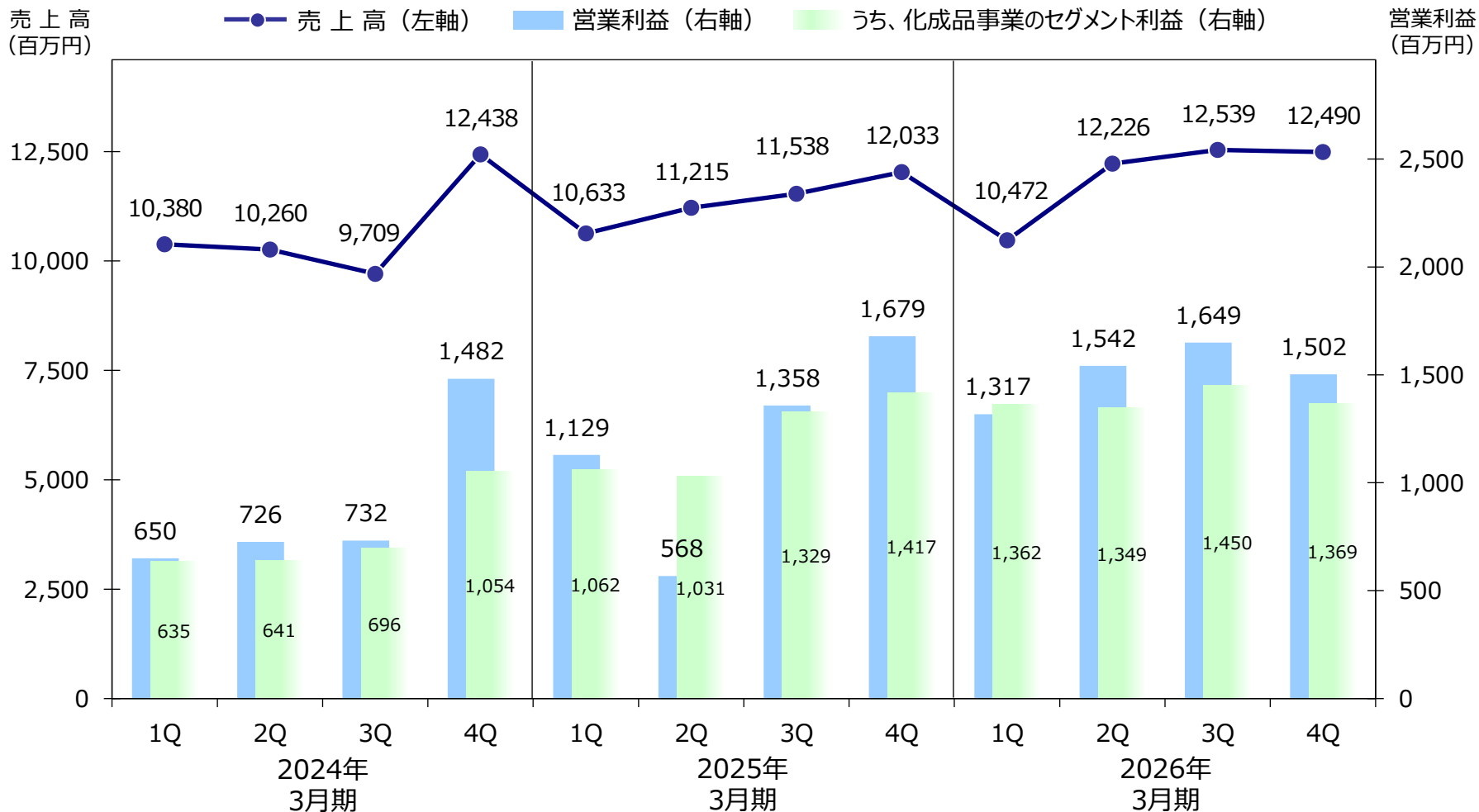
年度業績の推移

売上高と営業利益の推移



四半期業績の推移

四半期売上高と営業利益の推移



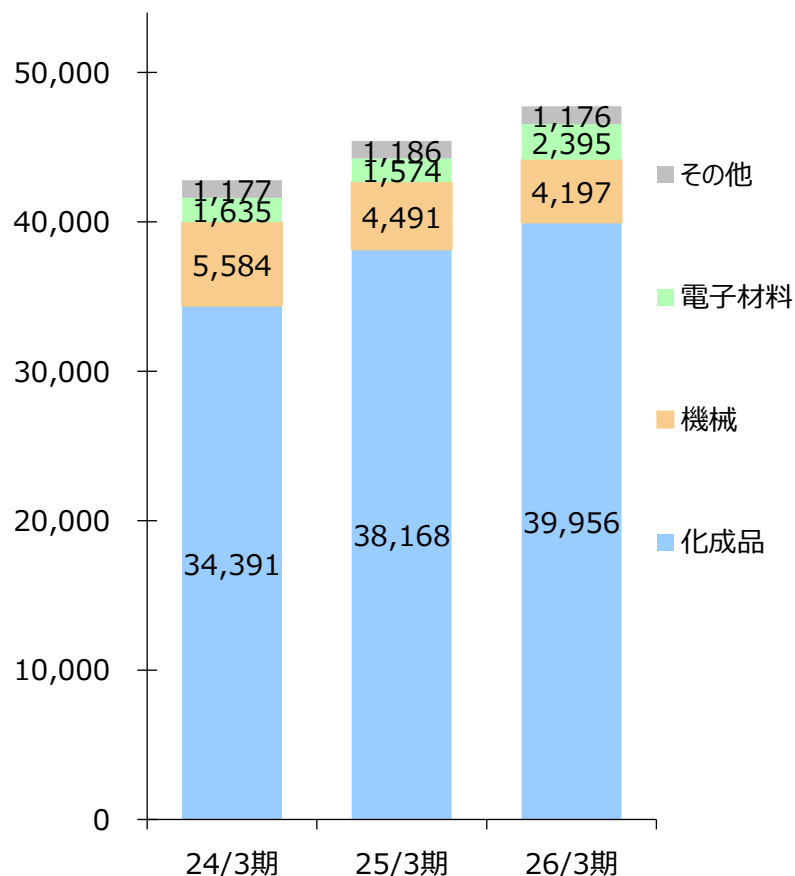
2026年3月期 セグメント別概要（売上高）

売上高の推移

(単位：百万円)

	2025/3期	2026/3期	増減	前年同期比
化成品	38,168	39,956	1,788	4.7%
機械	4,491	4,197	△ 294	△ 6.5%
電子材料	1,574	2,395	820	52.1%
その他	1,186	1,176	△ 9	△ 0.8%
合計	45,421	47,727	2,305	5.1%

(百万円)



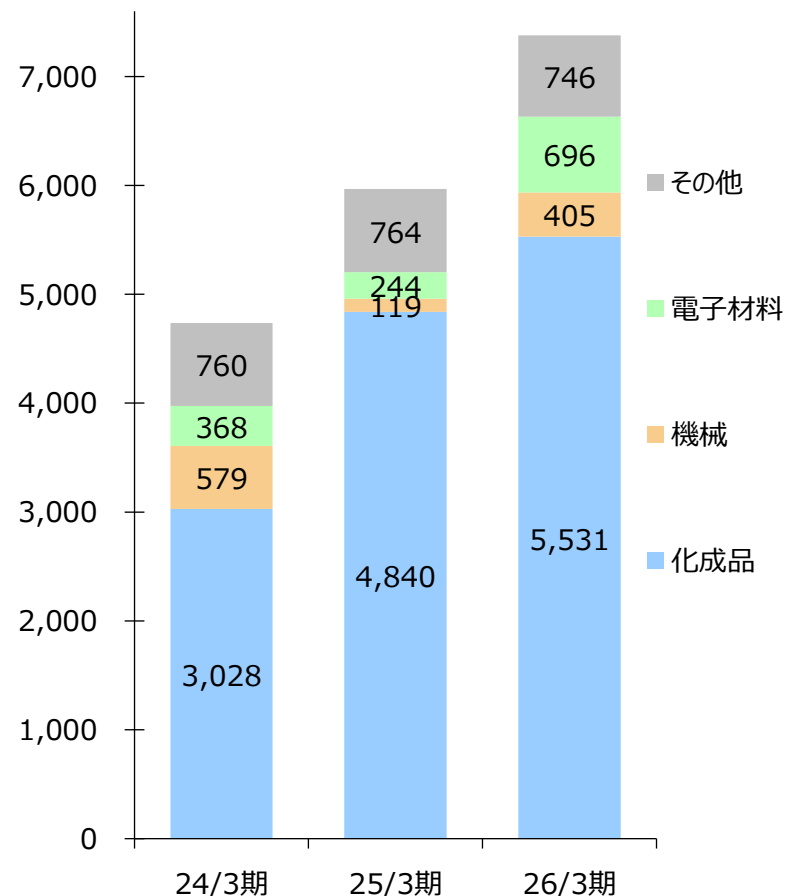
2026年3月期 セグメント別概要（利益）

セグメント利益の推移

(単位：百万円)

	2025/3期	2026/3期	増減	前年同期比
化成品	4,840	5,531	690	14.3%
機械	119	405	286	240.3%
電子材料	244	696	452	185.2%
その他	764	746	△ 17	△ 2.3%
(調整額)	△ 1,232	△ 1,367	△ 134	-
合計	4,736	6,012	1,276	26.9%

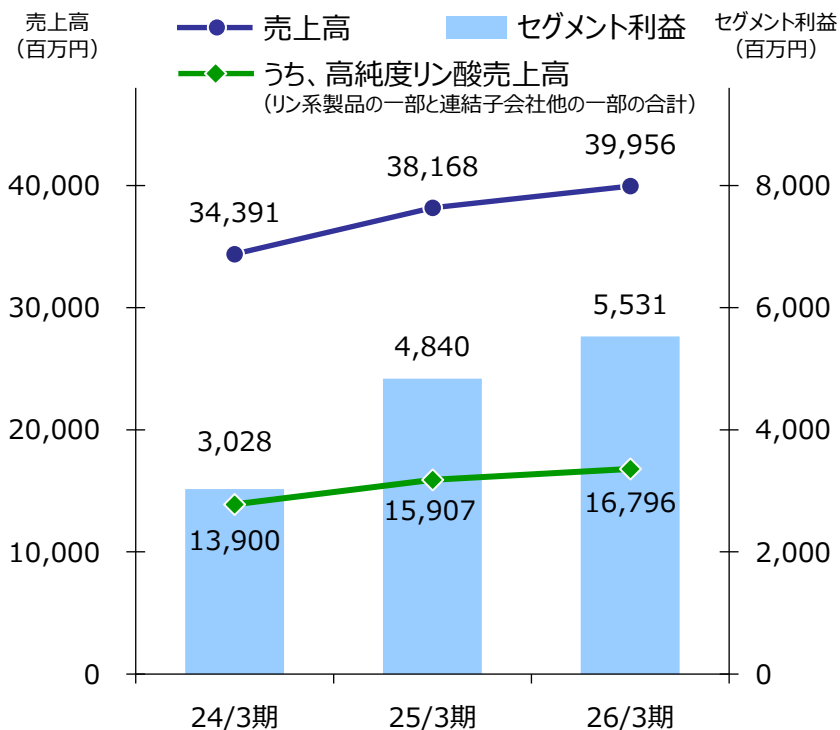
(百万円)



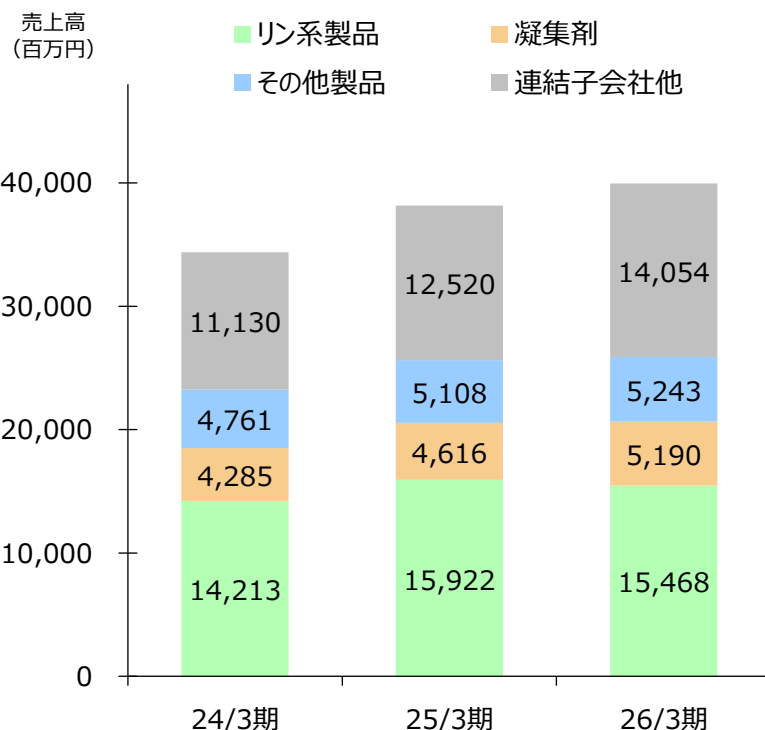
化成品事業

- リン系製品は、一般品向けおよび国内向け高純度品が引き続き低調に推移し減収となったが、半導体向け高純度品において海外向けの堅調な販売が国内の減収分を補い、全体では増収。
- 凝集剤は、電子部品のエッチング用途向けが減収となったものの、上水道向け製品が堅調に推移したことで、全体では増収。
- その他製品は、コンデンサー向け原料がやや減収となったものの、一部の購入品販売が増収となり、全体では増収。
- 営業利益は、半導体向け高純度品の海外向け販売や上水道向け製品が引き続き堅調に推移したことを主因として、690百万円 (+14.3%) の増益。

【化成品事業】 売上高とセグメント利益の推移

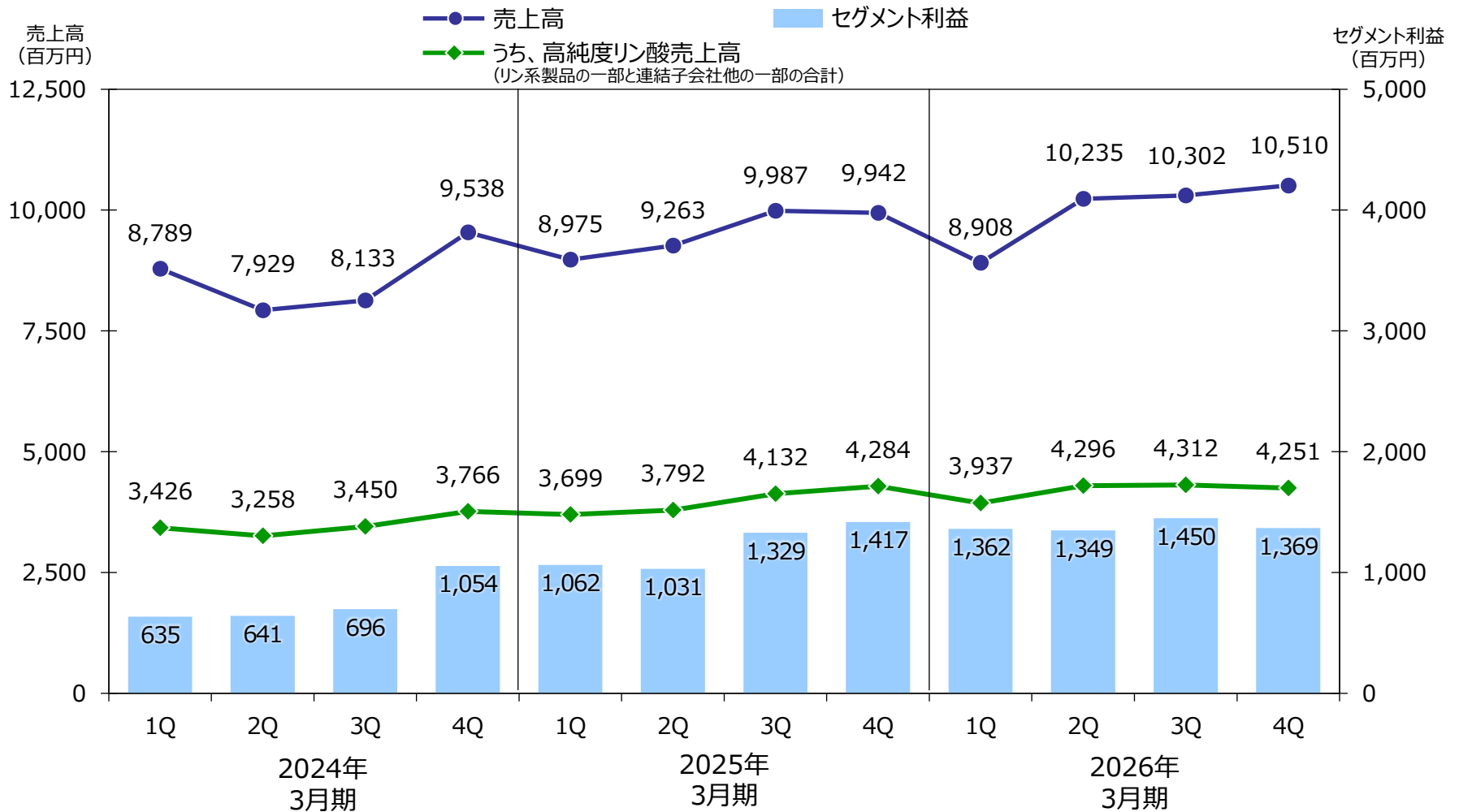


【化成品事業】 製品別売上高の推移



化成品事業（四半期業績）

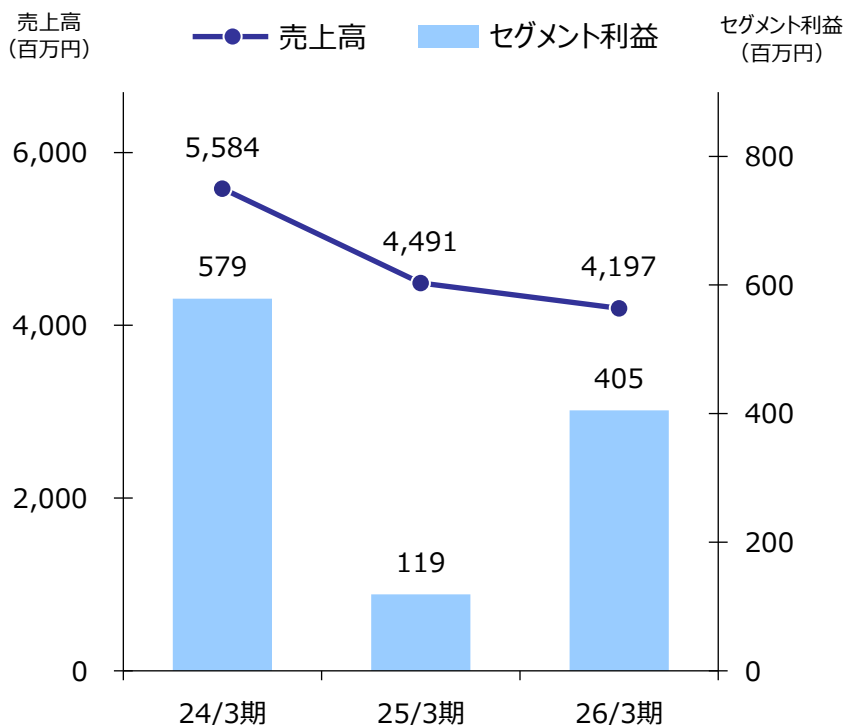
【化成品事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



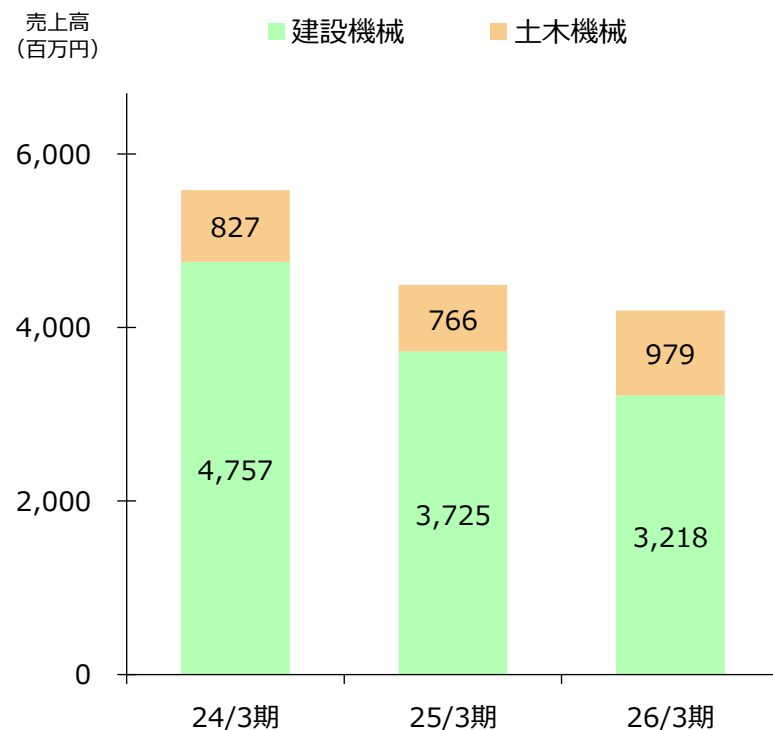
機械事業

- 建設機械は、破碎機などの本体販売、プラント販売が低調に推移し減収となり、消耗部品販売、精密機械加工は増収となったものの、全体では減収。
- 土木機械は、下水道関連向け掘進機のレンタル物件が引き続き堅調に推移したことに加え、本体の海外向け販売が伸長し増収となったことで、全体でも増収。
- 営業利益は、前期の棚卸資産評価損が無かったことに加え、土木機械の増収などが寄与し、286百万円（+240.3%）の大幅増益。

【機械事業】 売上高とセグメント利益の推移

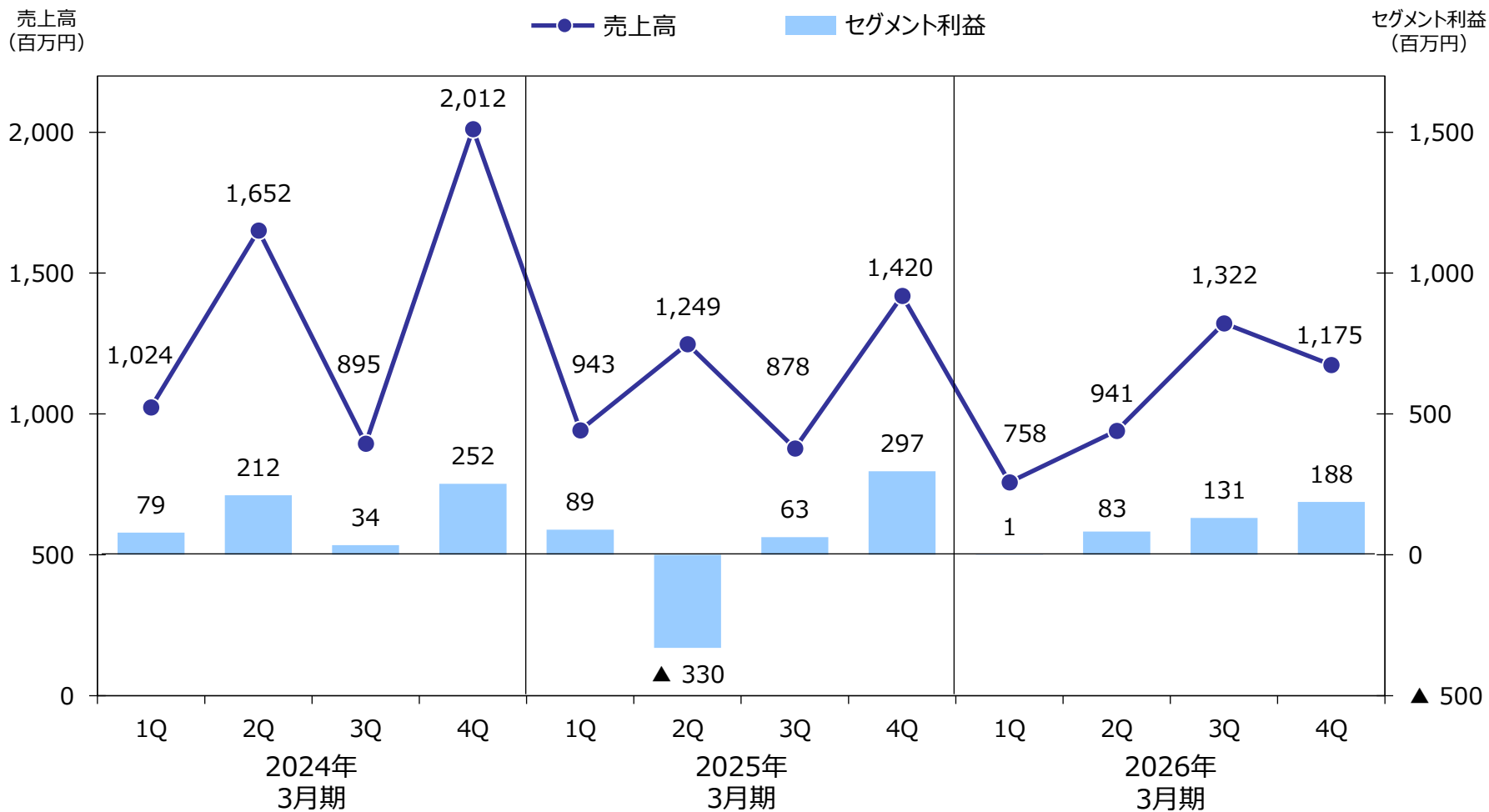


【機械事業】 製品別売上高の推移



機械事業（四半期業績）

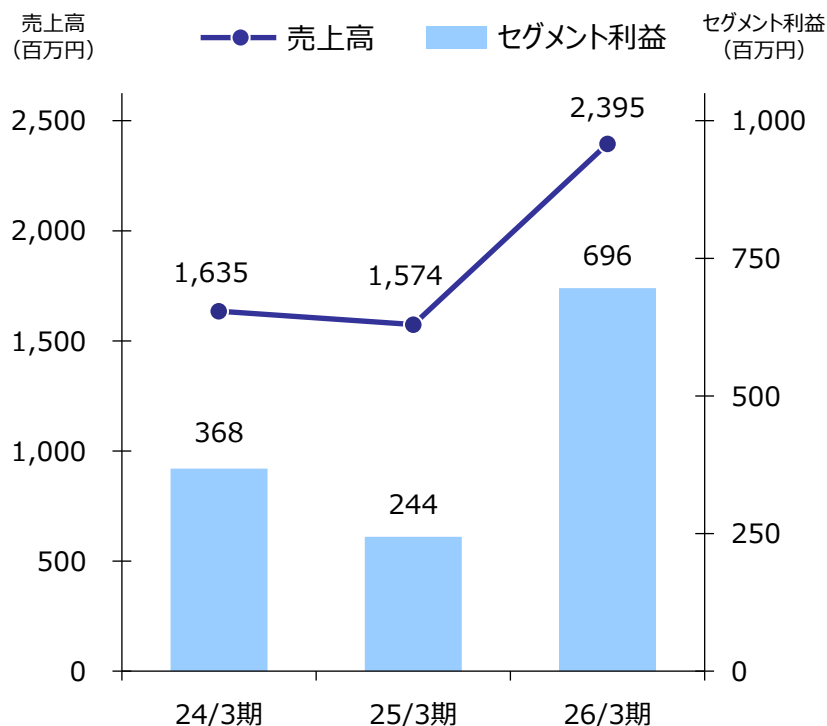
【機械事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



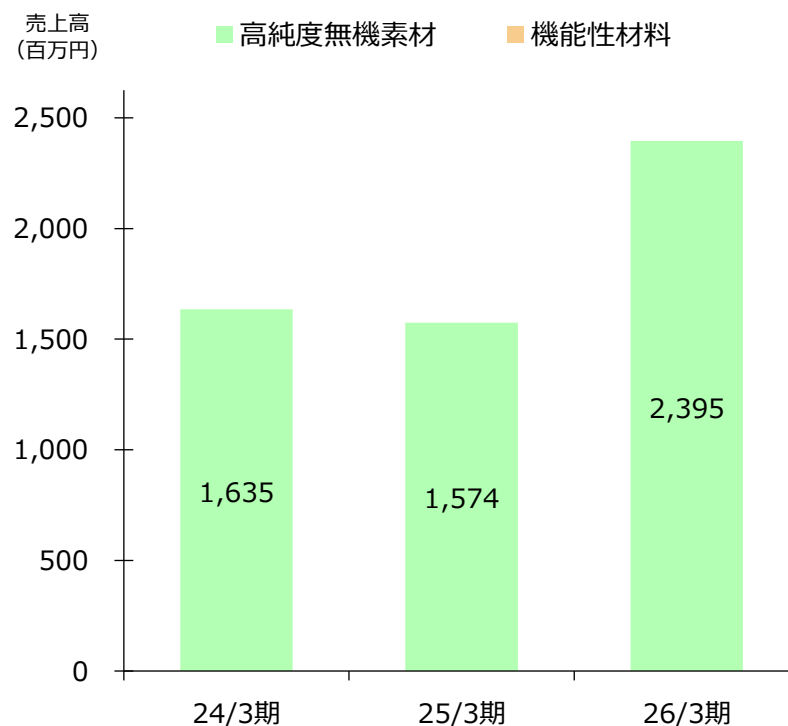
電子材料事業

- 化合物半導体向け高純度無機素材は、化合物半導体市況が堅調に推移し、赤リンおよびインジウムは増収、ガリウムはスポット販売の寄与もあり大きく増収。
- 営業利益は、増収に伴い、452百万円（+185.2%）の大幅増益。

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の推移

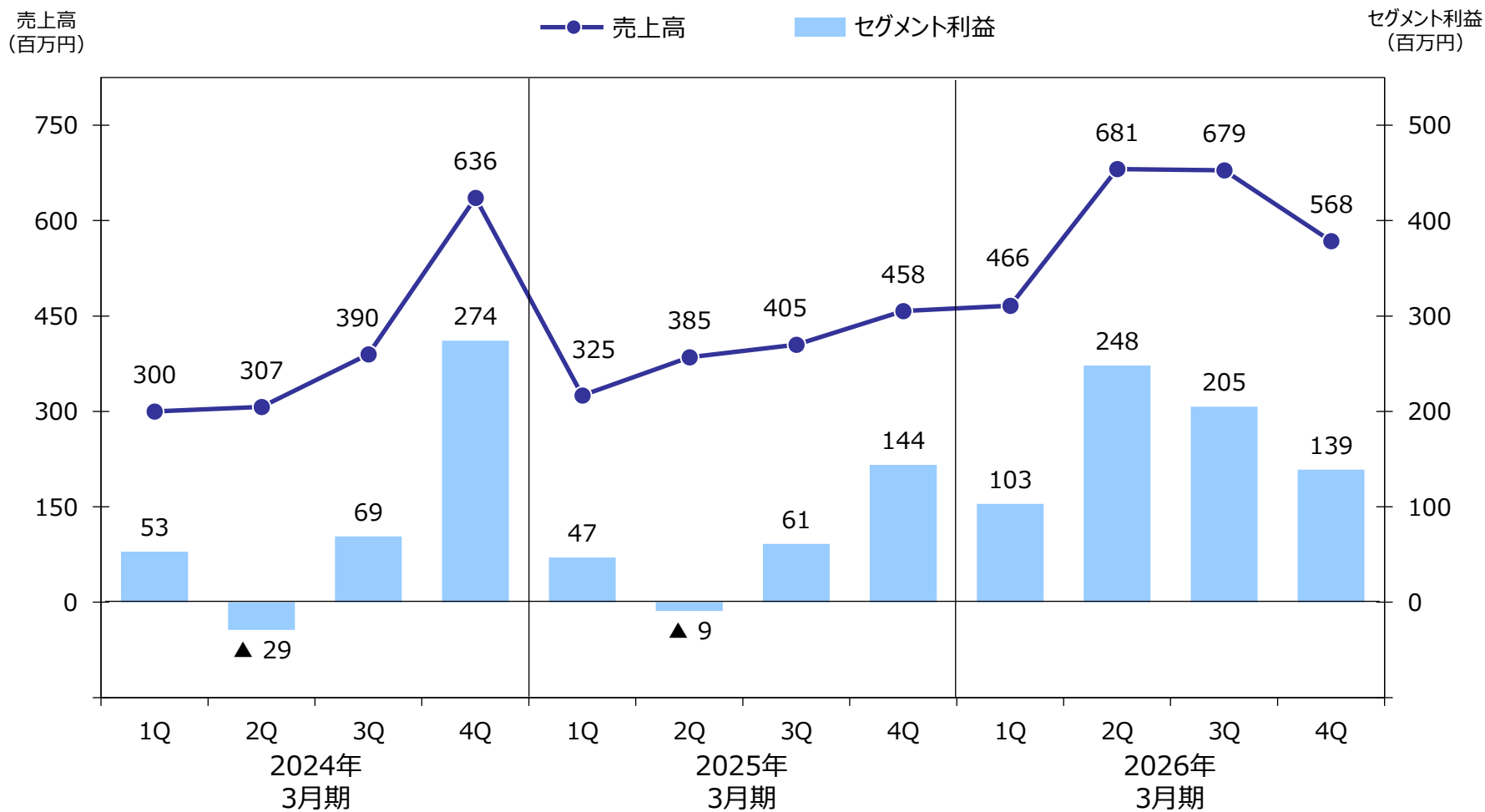


【電子材料事業】 製品別売上高の推移



電子材料事業（四半期業績）

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	2025/3期	2026/3期	増減	前年同期比
売上高	45,421	47,727	2,305	5.1%
売上原価	35,788	36,767	978	2.7%
販売費・一般管理費	4,896	4,947	50	1.0%
営業利益	4,736	6,012	1,276	26.9%
営業外収益	242	519	276	114.1%
営業外費用	376	340	△ 36	△ 9.6%
経常利益	4,602	6,191	1,589	34.5%
特別利益	34	—	△ 34	—
特別損失	26	0	△ 25	△ 96.9%
税金等調整前当期純利益	4,609	6,190	1,581	34.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,131	4,359	1,228	39.2%
(減価償却費)	1,794	1,781	△ 13	△ 0.8%

貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	2025/3月末	2026/3月末	増減
流動資産	23,581	24,646	1,064
現金及び預金	5,054	4,823	△ 231
受取手形、売掛金、電子記録債権	11,665	11,853	187
棚卸資産 ※	6,518	7,634	1,116
固定資産	22,257	25,327	3,070
有形固定資産	17,828	20,155	2,326
無形固定資産	45	48	3
投資その他の資産	4,382	5,123	740
資産合計	45,838	49,973	4,135
流動負債	11,004	11,202	197
支払手形及び買掛金	3,441	3,686	244
短期借入金	4,342	3,814	△ 528
固定負債	6,956	6,930	△ 25
長期借入金	3,996	3,693	△ 303
退職給付に係る負債	2,549	2,566	17
純資産合計	27,877	31,840	3,963
株主資本	26,088	29,406	3,317
その他の包括利益累計額	1,789	2,434	645
<自己資本比率>	60.8%	63.7%	2.9%

※ 棚卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）

	2025/3期	2026/3期	増減
営業キャッシュ・フロー	5,038	6,149	1,111
税金等調整前当期純利益	4,609	6,190	1,581
減価償却費	1,794	1,781	△ 13
売上債権の増減額（△は増加）	655	△ 104	△ 759
棚卸資産の増減額（△は増加）	38	△ 1,027	△ 1,065
仕入債務の増減額（△は減少）	△ 896	231	1,127
法人税等の支払額	△ 904	△ 1,376	△ 472
投資キャッシュ・フロー	△ 1,829	△ 4,485	△ 2,656
有形固定資産の取得による支出	△ 1,872	△ 4,373	△ 2,501
財務キャッシュ・フロー	△ 1,641	△ 1,960	△ 319
借入金の純増減額	△ 629	△ 860	△ 231
現金及び現金同等物 期中増減額	1,649	△ 231	△ 1,880
現金及び現金同等物 期末残高	5,054	4,823	△ 231

2027年3月期の業績予想

- 化成品事業は、半導体向け高純度リン酸が引き続き海外を中心に堅調に推移し、国内も回復傾向にあると想定されるため、増収増益を見込む。
- 機械事業は、下水道関連向け掘進機は前期並みと見込むが、建設機械は本体販売およびプラント販売は回復が見込まれるため、増収増益を見込む。
- 電子材料事業は、引き続き化合物半導体市況が堅調に推移する見込みで、前期のガリウムのスポット販売は剥落するものの若干の増収、利益は前期並みを見込む。
- 当期純利益は、下期に特損計上見込（固定資産処分損1億円強）により若干の減益を見込む。

(単位：百万円)

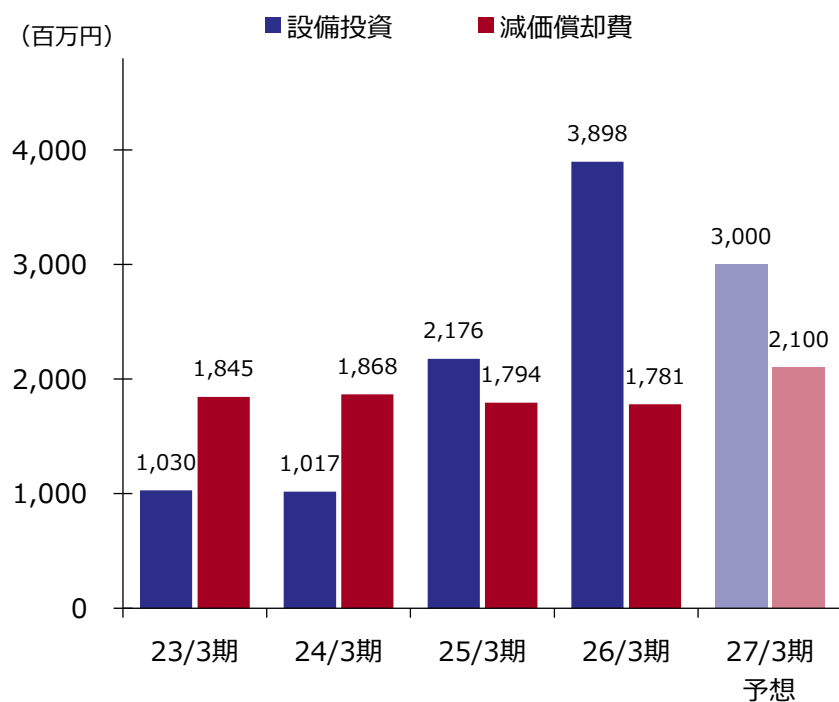
	2026/3期	2027/3期予想	増減	前年同期比
売上高	47,727	54,000	6,272	13.1%
化成品事業	39,956	45,000	5,043	12.6%
機械事業	4,197	5,300	1,102	26.3%
電子材料事業	2,395	2,500	104	4.4%
その他の事業	1,176	1,200	23	2.0%
営業利益	6,012	6,200	187	3.1%
化成品事業	5,531	5,800	268	4.9%
機械事業	405	500	94	23.3%
電子材料事業	696	700	3	0.5%
その他の事業	746	700	△ 46	△ 6.2%
全社費用など	△ 1,367	△ 1,500	△ 132	—
経常利益	6,191	6,300	108	1.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,359	4,300	△ 59	△ 1.4%
1株配当金	36円	36円	0円	—
想定為替レート（1ドル）		155円		

※2026年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割実施。2026年3月期の1株当たり配当金は当該株式分割の影響を遡及的に反映して表示。

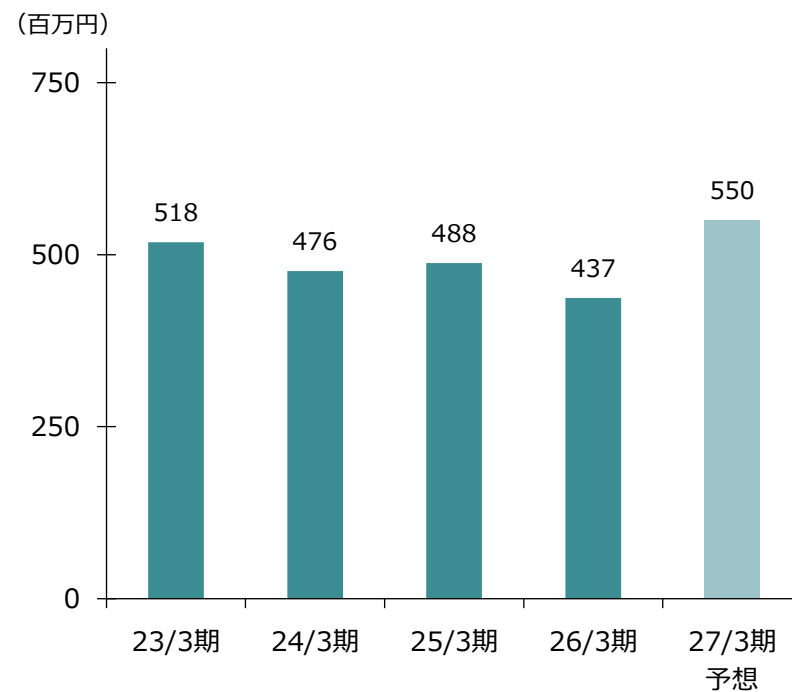
設備投資・減価償却費及び研究開発費の推移

- 設備投資は、2026年3月期に台湾子会社の半導体向け高純度リン酸の製造設備増設を実施済み。2027年3月期は化成品事業・電子材料事業を中心に更新・増強投資を実施予定。
- 研究開発費は、主に開発センターにおける研究開発活動に係る費用。

設備投資・減価償却費



研究開発費



株主還元方針

- 株主への利益還元を重視しつつも、業績の推移を勘案した財務体質改善および将来の設備投資や事業展開の原資としての内部留保の調和を総合的に検討し決定する。
- 安定配当を堅持しつつ配当性向の更なる向上を目指す。
- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応として、

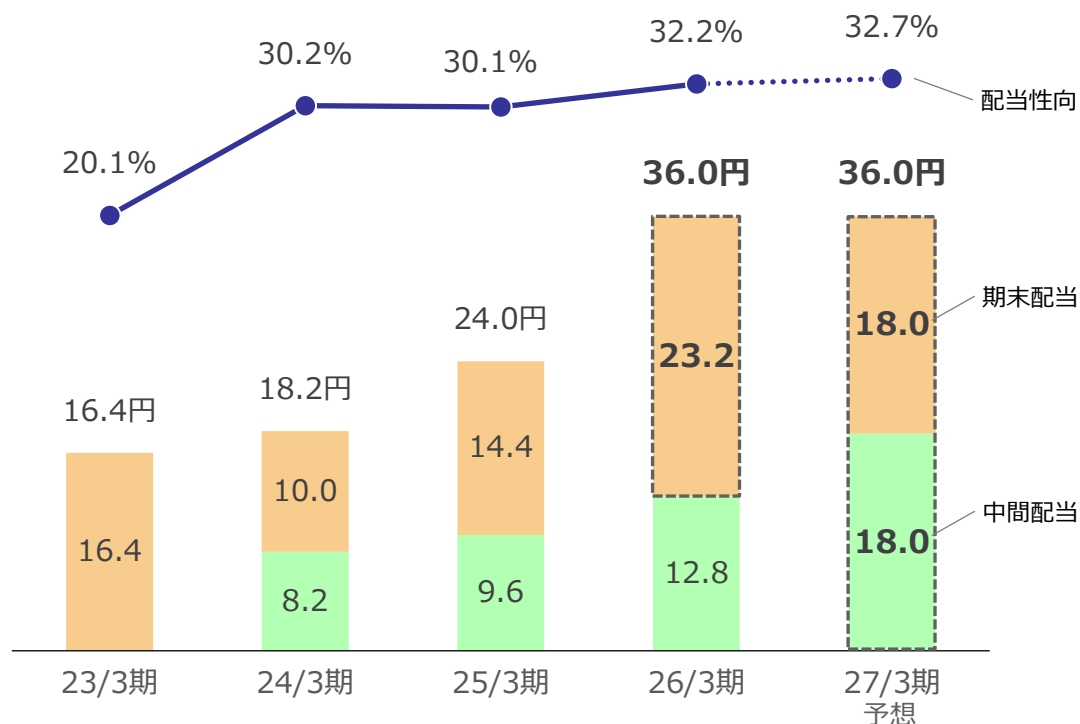
「配当性向30%以上、ROE10%以上」 を目標に設定。

2026年3月期

- 期末配当は、直近予想の1株当たり21.2円から2円増配の23.2円を予定
- 中間配当12.8円と合わせ、年間配当は36円を予定

2027年3月期

- 年間配当36円（中間配当18円、期末配当18円）を予定



※2026年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割実施。2026年3月期以前の1株当たり配当金は当該株式分割の影響を遡及的に反映して表示。

トピックス① 設備投資

台湾子会社における生産能力増強設備が稼働開始

台湾連結子会社

会社名 **理盛精密科技股份有限公司**

(Rasa Technology Taiwan Ltd.)

所在地 台中市梧棲區緯二路1號

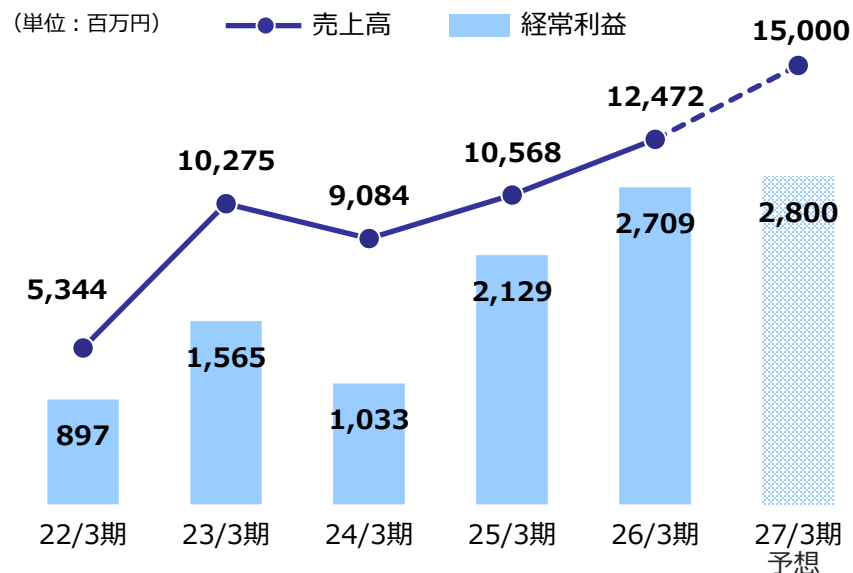
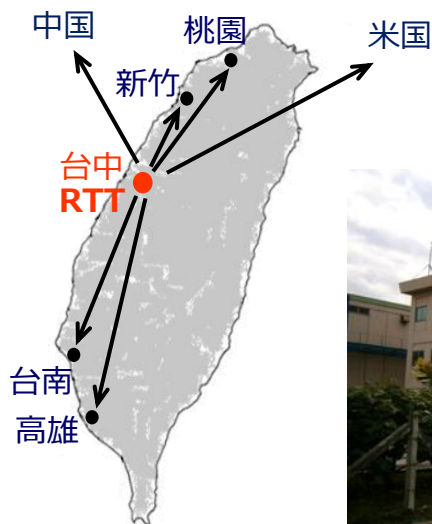
設立 2003年12月17日

設備目的 **半導体向け高純度リン酸増産**

設備概要 **総額約30億円、年間償却費約4億円**

増産効果 **台湾の生産能力の4割アップ**

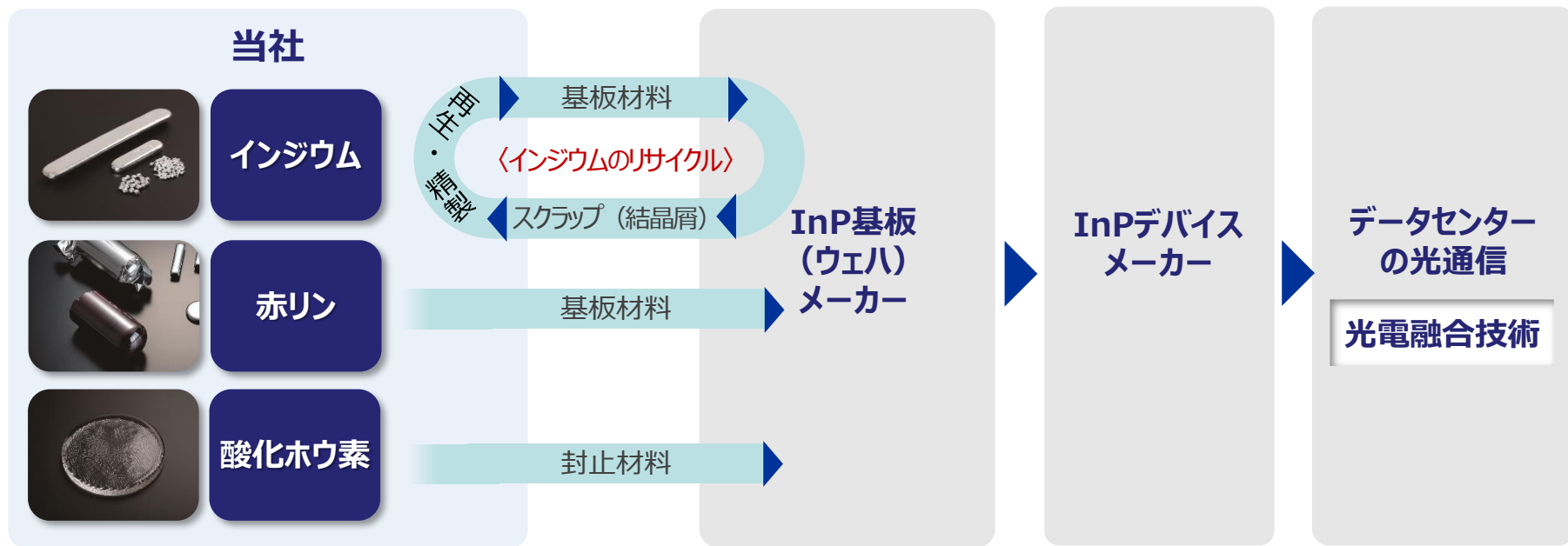
稼働開始月 **2026年4月** (27/3期2Qから売上に寄与)



トピックス② インジウムリン需要の増加（電子材料事業）

データセンターの光通信の受発光素子（光トランシーバー）向け インジウムリン（InP）の需要が増加

- インジウムリン（InP）は、インジウム（In）とリン（P）から成る化合物半導体であり、光通信を支える基幹材料として中長期的な成長が見込まれる。
- 次世代の情報通信基盤技術として開発が進む光電融合技術においても、インジウムリンの採用が期待される。
- 当社は、インジウムリン基板の原料であるインジウム、赤リン、酸化ホウ素を製造するとともに、インジウムのリサイクルに強みを有しており、サプライチェーン上流から循環型供給までを担う。



本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだものをご理解下さい。

－IRに関する問い合わせ窓口－
ラサ工業株式会社 経理部
03-3258-1835